

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月9日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00737.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月9日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月9日）

令和8年10月9日(金曜日)

教育、科学技術・学術

キーワード

「公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する法律の一部を改正する法律案」の閣議決定，硯合教授のノーベル化学賞受賞，基礎研究の強化や日本の科学技術が世界をリードしていくための取組，純粋な「知」の探求を目的とする基礎研究に関する見解

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年10月9日（金曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年10月9日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月9日） YouTube 字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00737.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00737.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=fYleO1WJvkg>

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-10-13T04:51:10.792427+00:00

[00:00:00] え、では、あの、私から2件申し上げ
[00:00:03] ますえ
[00:00:05] ですが、あの、先ほど各議におき
[00:00:08] まして文部科学省から今会出をいたします
[00:00:12] 。公立高校の学校、学校司会及び学校薬剤
[00:00:19] 師の公務災害保障に関する法律の一部を
[00:00:22] 改正する法律案があ、閣議決定されました
[00:00:26] 。この法律案は、え、先の国会で労働者
[00:00:30] 災害保守保険法が改正されたことを受け
[00:00:34] まして、え、国家公務員、地方公務員の
[00:00:38] 公務災害保障制度改正が予定されている
[00:00:42] ところ、
[00:00:44] 交通学校の学校等の保障に関する消滅事項
[00:00:49] の期間につきまして、これらの改正と同様
[00:00:53] の見直しを行うものでございます。え、
[00:00:57] 本国国会内の成立を目指しておりまして、
[00:01:00] 全力を尽くしてまいりたいと存じます。
[00:01:04] [鼻息]はい、これが1点目でございます
[00:01:06] 。はい。え、2点目でございますが、
[00:01:11] はい。え、本日各議に[鼻息]おきまして
[00:01:14] 、え、総合憲争名誉教授のノーベル科学省
[00:01:18] 受賞について報告をいたしました。え、
[00:01:21] 今回の受賞は我が国の研究者が高い研究
[00:01:24] 水準を有することを改めて世界に示すもの
[00:01:28] でありますとともに、え、国民に取りまし
[00:01:32] て大きな誇りと励みになるものでござい
[00:01:34] ます。え、私としましては国民を代表
[00:01:39] いたしまして心からお祝いを申し上げます

[00:01:42] とともに、え、これまでの阻害名誉教授の
[00:01:45] 素晴らしい研究業績に改めて、え、経緯を
[00:01:49] 表します。ベル科学省受賞が決まった直後
[00:01:53] に、え、阻害名誉教授で、え、お電話をし
[00:01:57] た際に、先生からは家やあ、東京理科大学
[00:02:01] の研究支援体制をめとする様々な支援が、
[00:02:05] ま、今回の成果につがったとのお話を
[00:02:08] いただいたところでございます。え、文部
[00:02:11] 科学省では来名誉教授に続くような優れた
[00:02:15] 研究成果の継続的な喪失のために、え、
[00:02:19] 家遣費や国立大学法人運営費交付金等の
[00:02:23] 基盤的な経住
[00:02:26] など基礎研究の多様性と厚みを生み出して
[00:02:30] いくための政策を引き続き推進をいたし
[00:02:33] まして、我が国の基礎研究力や[鼻息]
[00:02:36] 人材育成の評価をしっかりと進めてまいり
[00:02:39] たいと思います。以上です。
[00:02:42] え、ありがとうございました。え、ではまず、え、監事者から質問させていただきます。
えと、
[00:02:46] 冒頭のあの現象に関連しまして、あの、今回の総先生の、ま、成果のような基礎研究の共
感っていうのは重要だと思うんですけども、改めて今後の具体的な作について伺います。
[00:02:59] えっと、さらにその基礎研究の成果の社会想に向けた取り組みや、え、応用研究への投資
も進めていく必要があると考えますが、
[00:03:07] え、日本の科学技術が世界をリードしていくために今後の、え、取り組み強化に向けて、
え、文部科学大臣の見解をお願いいたします。
[00:03:15] はい。え、基礎研究は、え、人類の発展の基礎となる貴重な知的資産を想像しまして、引
いてはイノベーションの厳選を生み出すものでございます。
[00:03:26] 基礎研究の対応集みを生満たしていく
[00:03:29] 取り組みが重要であると考えております。
[00:03:32] え、木科学省といたしましては、え、1つ
[00:03:35] には研究者の自由な発想に基づく研究を
[00:03:38] 支えます
[00:03:40] 費ですね。え、科学研究事業の浜原拡充等
[00:03:45] の競争的研究費を充実させていく。え、2
[00:03:49] つには基盤的経費であります。国立大学
[00:03:52] 法人運営費国金の幅拡充や、え、主学女性
[00:03:57] の重点化また充実を図っていこう。で、3
[00:04:01] つには、え、世界、え、トップレベルの
[00:04:03] 研究者が集まります。国際的な研究協
[00:04:08] や対応で厚みのある研究大学の形成をして
[00:04:13] いこう。4つには分かって研究者等の科学
[00:04:16] 技術人材の育成活躍促進等に取り組んで
[00:04:20] いこうと考えております。これらの
[00:04:22] 取り組みを通じまして我が国の科学を再行
[00:04:25] いたしまして世界の科学技術を検引する
[00:04:28] 新技術立国え立国の実現に貢献をしても
[00:04:32] いいと思っております。はいです。え、
[00:04:36] ありがとうございました。え、それでは
[00:04:37] 各者さんからの質問お願いします。質問の
[00:04:40] 際は署名を名乗ってからお願いします。
[00:04:42] はい、どうぞ。共同通信のと申します。
[00:04:46] あのノーベル学習についてお伺いをいたし
[00:04:48] ます。あの都内慶さんのあの研究基礎研究

[00:04:52] というお話もありましたけれどもあの基礎
[00:04:55] 研究の中でも生命の根源にこの間に通に
[00:04:58] 迫るような純粋なあの基礎研究だったと
[00:05:00] 言えると思います。あの、事業化や社会実
[00:05:03] を、あの、限定にした応用基礎というのも
[00:05:06] 非常に重要だと思うんですけれども、あの
[00:05:08] 、こうした人類の地に貢献するような、ま
[00:05:10] 、彼の親随というような研究だったと思う
[00:05:13] んですが、こうした研究が、ま、ノーベル
[00:05:15] 賞をれたことをまず大臣としてどう
[00:05:18] 受け止められていますでしょうか。そして
[00:05:20] もう1つ、あの、今家機のお話もありまし
[00:05:22] たけれども、え、今、あの、多くの研究者
[00:05:25] の方から、あの、研究が短期的な目線で
[00:05:28] しかあの、評価されなくなっているの
[00:05:30] ではないかという指摘もあります。
[00:05:31] あの、文科省としてこのような研究というものを支援していくために何が必要か、あの、
改めてお考えをお伺いできればと思います。
[00:05:38] はい。はい。わかりました。
[00:05:39] え、宇宙やあの生命の仕組みなど純粋な質の探求を目的といたします研究は研究者の自由
な発想と地抗奇士に基づきまして、え、進められるものでございます。新たな科学的見や概念を生み
出す
[00:05:57] 基盤となるものだとは認識をしております。
[00:05:59] で、その基礎研究の成果でございますが、
[00:06:02] あ、将来的な応用研究ノベーション創失の
[00:06:06] 土台となるものでございまして、え、長期
[00:06:09] 的な視点で極めて重要なあの意義を有して
[00:06:12] いると考えております。え、文部、文部
[00:06:14] 科学省といたしましては、え、社会状況に
[00:06:18] 対応して早期の創失や、え、実用化を
[00:06:23] 目指す研究に加えまして、新たな地形
[00:06:26] や喪失[鼻息]
[00:06:27] につがります基礎研究も着実に推進して
[00:06:30] まいります。はい、そのように考えており
[00:06:33] ます。ありがとうございます。
[00:06:38] それでははい、以上で会見終了します。
[00:06:40] ありがとうございます。どうも
[00:06:40] ありがとうございます。